

中間貯蔵施設事業において
発生した事例と対応等の詳細
(2022年8月環境安全委員会報告以降)

2023年3月

環境省

交通事故（輸送車両の物損（対物）事故）

事例の概要

- ・輸送車両(実車)の高速道路上中央分離帯センターポールとの接触

2022年8月1日 12時34分頃 <前田JV>

南相馬市からの輸送車両が常磐自動車道(上り車線)を走行中、浪江ICと常磐双葉ICの間で、中央分離帯センターポールに接触した。

発生要因

- ・よそ見運転

再発防止策

- ・高速道路の対面走路での安全走行を再徹底

交通事故（輸送車両の物損（対車両）事故）

事例の概要

- ・輸送車両(実車)の対向車線をはみ出してきた一般車両との接触(もらい事故)

2022年7月29日 12時22分頃 <大成JV>

飯舘村からの輸送車両(空荷)が、2回転目の輸送のため仮置き場へ戻る途中、国道114号を飯舘村方面へ走行中、対向車線をはみ出して走行してきた一般車両(乗用車)と接触した。

交通事故（業務車両の人身事故）

事例の概要

- ・通勤車両の事務所駐車場駐車時に作業員と接触

2022年7月8日 7時20分頃 <(株)丸東>

通勤車両が事務所駐車場へ後方移動にて駐車しようとした際、車両後方を通過していた作業員に接触した。

発生要因

- ・後方駐車時の後方安全確認不足

再発防止策

- ・駐車場に誘導員を配置
- ・駐車場内は、車両後方を通行しないこと徹底

交通事故（業務車両の物損（対車両）事故①）

事例の概要

- ・業務車両が中間貯蔵事業外運搬車両と衝突 2022年8月22日 11時30分頃 <安藤ハザマJV>
業務車両が、双葉町内の側道から県道254号線に右折する際、県道254号線を東側へ直進中の中間貯蔵事業外運搬車両（10tダンプ）に衝突した。

発生要因

- ・交差点右折時の左側確認不足

再発防止策

- ・信号機無し、及び一時停止義務のない交差点において、一時停止を確実に実施することを徹底

交通事故（業務車両の物損（対車両）事故②）

事例の概要

- ・業務車両の一般乗用車との接触 2022年8月24日 8時55分頃 <前田JV>
富岡町の商用施設駐車場から県道163号線に右折する際、一般乗用車に接触した。

発生要因

- ・T字路左折時の左側確認不足
- ・左側からの車両が直進すると思い込み

再発防止策

- ・安全運転遵守を再徹底

交通事故（通勤時交通事故①）

事例の概要

- ・凍結路面でスリップし路肩に乗り上げ

2022年12月7日 6時28分頃 <JESCO>

通勤のため国道288号を普通車両で走行中、凍結路面でスリップし、ガードレールに接触後路肩に乗り上げ停止した。

発生要因

- ・凍結路面への認識不足
- ・減速不足

再発防止策

- ・危険箇所のハザードマップ作成
- ・冬季安全運転励行を再徹底

交通事故（通勤時交通事故②）

事例の概要

- ・工事車両（業務終了後）の対向車線をはみ出してきた一般車両との衝突（もらい事故）

2022年12月19日 16時35分頃 <大林JV>

車両基地に戻るため国道288号を工事車両で走行中、対向車線を走行中の一般車両が凍結路面でスリップし、当該車両に衝突した。

事例の概要

- ・通勤車両の対向車線をはみ出してきた一般車両との衝突（もらい事故）

2023年2月11日 6時50分頃 <JESCO>

通勤のため県道35号を走行中、対向車線を走行中の一般車両が凍結路面でスリップし、当該車両に衝突した。

業務車両の故障等（タイヤの脱落）

事例の概要

・工事車両のタイヤ脱落

採取土（土壌貯蔵施設の堰堤に使用）を積んだ工事車両が、場内の中央台線工事用道路のカーブを走行した際、左側輪の後軸タイヤ2本が脱落した。

2022年11月22日 9時45分頃 <清水JV>

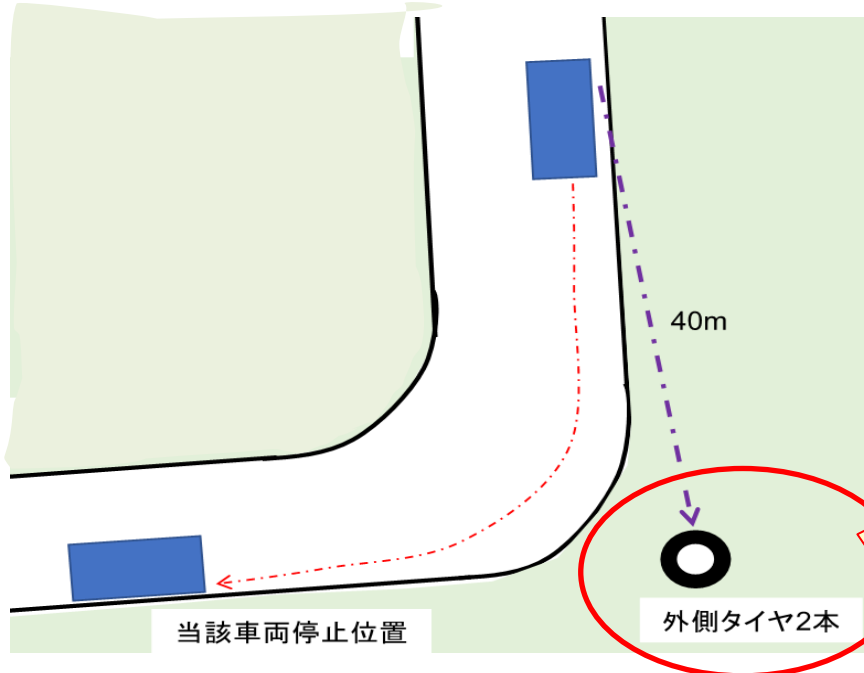
発生要因

- ・冬タイヤへの交換時のナット締め付け不足

再発防止策

- ・現場従事車両のナット締め付け確認を実施
- ・タイヤ交換は専門業者へ依頼することへ変更

【現場の状況図】



【脱落したタイヤ】



【車両の状況】



輸送車両の故障等（エンジントラブル）

事例の概要

飯舘村からの除去土壌等の輸送車両が、飯舘村内の県道31号線を走行中、エンジン警告灯が点灯したため安全な場所へ停止・待機した。ディーラーのリモート診断で走行可能を確認し、仮置場へ戻った。
(2022年7月11日) <大成JV>

発生要因

- ・ 経年劣化による温度センサー不良

再発防止策

- ・ 日常点検、定期点検等の確実な実施
- ・ 車両トラブル時の対応を再徹底

輸送車両の故障等（ルート逸脱）

事例の概要

二本松市からの焼却灰輸送車両4号車(実車)が、国道288号を走行中、町道との交差点で左折すべきところを直進した。
(2022年11月26日) <西松建設(株)>

ルート逸脱後の対応

- ・ 逸脱後は、安全な場所に待機し、受注者が安全に輸送ルートに復帰する方法を環境省と確認するなどした後、正規ルートに復帰した。

再発防止策

- ・ ルート逸脱箇所にて、有人による案内を実施
- ・ 逸脱発生箇所について車載音声ナビを分かりやすく改善

現場での事故等（物損／架空線切断）

事例の概要

・家屋解体作業時の架空線切断

2022年7月28日 15時13分頃 <(株)丸東>

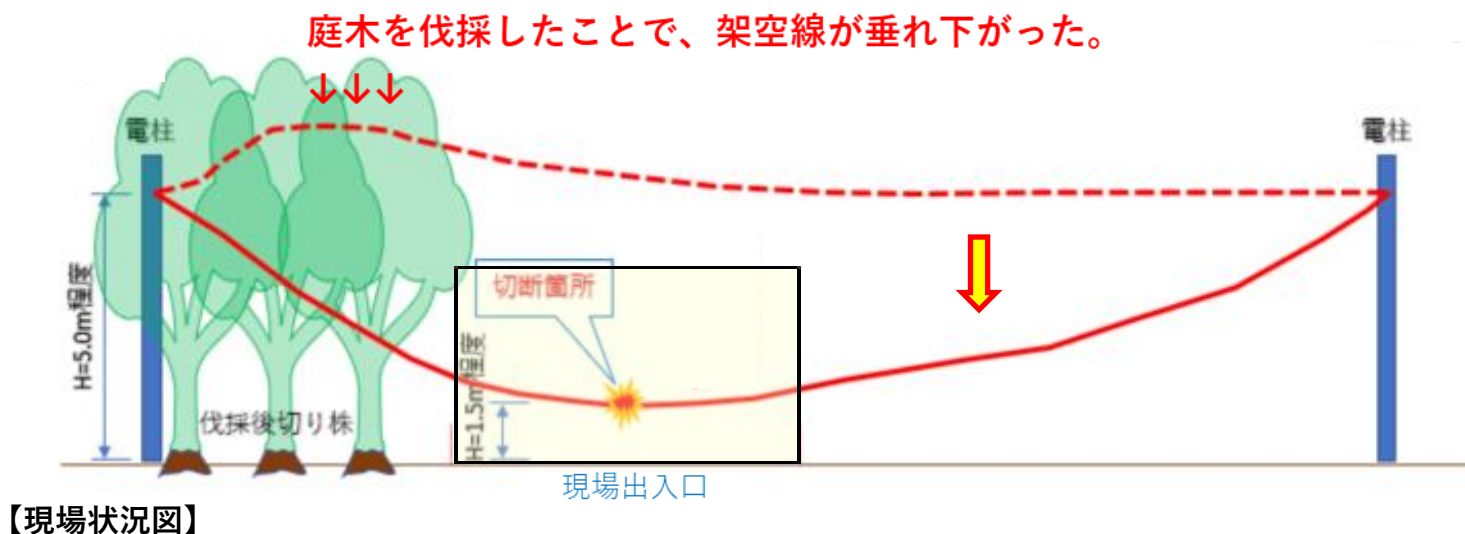
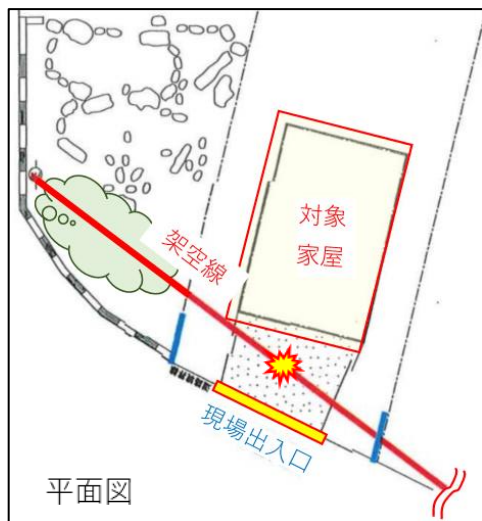
家屋解体作業において、業務車両の出入口確保を行う際、出入口を横断する状態で敷設されていた架空線(NTT光ケーブル)を切断した。

発生要因

- ・ 家屋解体現場の請負事業者担当職員が、電話配線と誤認し、切断許可をした。(切断した。)
- ・ 架空線確認すべき手順を省略した。
(出入口ゲートを追加設置するに当たり、現場の出入口ゲート追加設置の立会を依頼しなかったため、架空線確認の機会を逸した。)
- ・ 架空線の種類について認識・確認がされていなかった。

再発防止策

- ・ 「架空線の切断は、担当監督官の承認を得る」ルールを設定。
- ・ 「現場の出入口ゲートの設置の際は、立会いの依頼をする」ルールの遵守を徹底。
- ・ 架空線の種類、及び「架空線を切断するルール」について教育を実施。



現場での事故等（転倒によるけが）

事例の概要

- ・足を滑らせて転倒し作業員がけが
- ・施設内で施設解体の準備作業を行っていた作業員が、作業エリアの床面に仮置きしてあった廃棄予定の防護用ネット（プラスチック製の編み目ネット）を左足で踏んだ際、足を滑らせ転倒した。
- ・左足腓骨骨折。

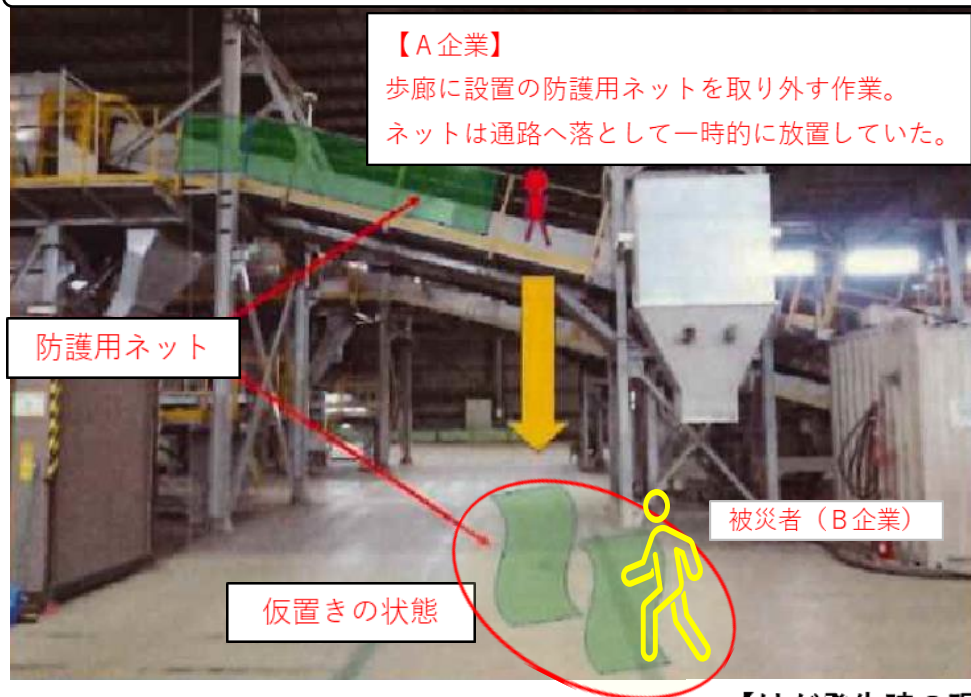
2022年8月27日 11時10分頃 <鹿島JV>

発生要因

- ・ 廃棄予定の資材（防護用ネット）を床面に放置していた。
- ・ 施設内を移動する際、ネット上を歩いた。
- ・ 小走りで移動した。

再発防止策

- ・ 施設内の通路上に資材を置かない。（作業区画・資材置場を整理する。）
- ・ 資材上を歩かない。
- ・ 現場は走らない。



【けが発生時の現場状況（イメージ）】

現場での事故等（挟まれによるけが）

事例の概要

- ・オートフックに指を挟まれ作業員がけが 2022年10月25日 10時15分頃 <(株)伊藤工務店>
- ・ 保管場で大型土のうに玉掛けの際、自動開放されていないオートフックを解除させるため、フックの稼働域に右手を添えていたところ、自動開放となったフックが跳ね上がり、小指を挟まれた。
- ・ 右小指末節骨骨折。

発生要因

- ・ オートフックが自動開放されていない状態で作業を継続した。
- ・ オートフックの稼働域を掴んで作業をした。



【けが発生時の状況】

再発防止策

- ・ オートフックが自動開放されていない場合は、絶対に触らないことを徹底。
- ・ オートフックが自動開放されない場合は、バックホウの上下操作によって自動開放させることを手順書へ反映。
- ・ オートフック本体に、「作業中の接触禁止」の注意喚起表示を実施。



フックが跳ね上がり小指が挟まれた。

【フックへの注意喚起（イメージ）】

補足：跳ね上がる部分



その他の事案（土壌貯蔵施設、浸出水処理設備PH調整槽から溢水）

事例の概要

・土壌貯蔵施設、浸出水処理設備PH調整槽から処理済水の溢水

2023年1月18日 10時10分頃 <清水JV>

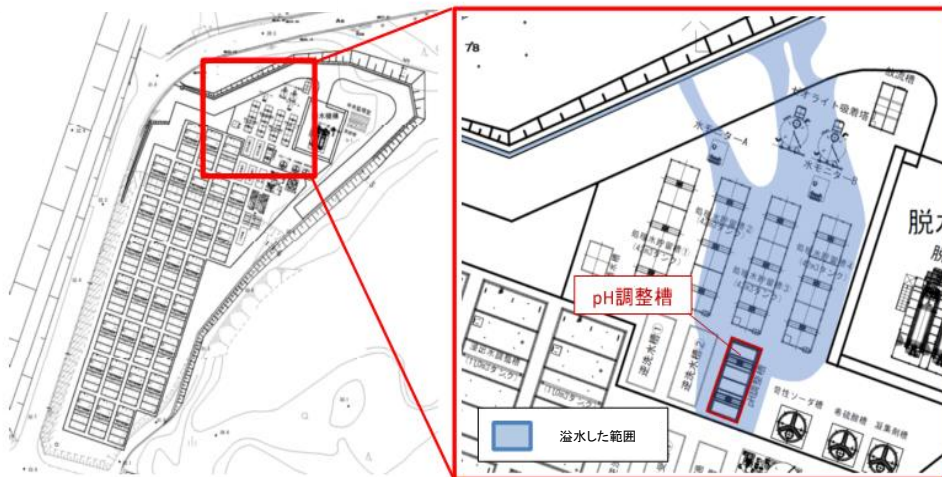
土壌貯蔵施設からの浸出水を処理している設備において、凝集沈殿・砂ろ過による処理後の水が、放射能濃度測定前にPH調整槽から溢水した。溢水した水の放射能濃度は検出下限値未満であること、及びPH値は基準値内であることを測定により確認した。

発生要因

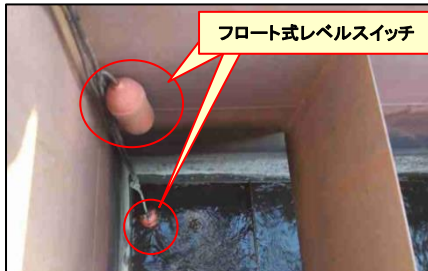
- ・ PH調整槽のフロート式レベルスイッチ(※)の動作不良
⇒フロート式レベルスイッチのケーブルが硬くなっていたもの推測。
※一定の液位でポンプを起動させ、槽内の水を次工程へ移送させるスイッチ

再発防止策

- ・ 施設稼働前のフロート式レベルスイッチの動作確認
- ・ 冬季の設備稼働時の点検作業員を増員
- ・ フロート式レベルスイッチのケーブル劣化点検と交換



【大熊2工区_土壌貯蔵施設_浸出水市を利設備_概略図】

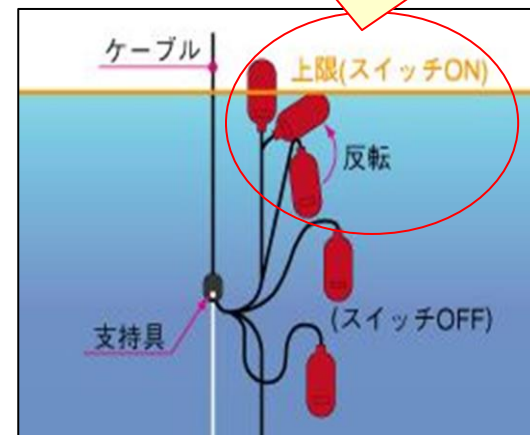


【PH調整槽内部_液位は低い状態の時】



【PH調整槽外観】

液位が上昇し、フロートが上限まで浮き上がり、フロートが反転(立つこと)でスイッチが入る。



【フロート式レベルスイッチ動作原理(略)】